

企業名：北越コーポレーション

レポート名：統合報告書2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

SDGs を踏まえて、製造過程における環境への影響を最小限にとどめつつ、事業の拡大を目指していることがよく伝わった。また、新型コロナウイルスの流行を含め、現代社会は不透明な状況が続いている。それを受け、様々な情勢の変化に柔軟に対応しようとする様子から、革新性の高い企業を目指していることが理解できた。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

この会社は洋紙、白板紙事業に力を入れており、その中でも塗工紙、印刷用紙はこの会社の主力商品であり、国内でも高いシェアを誇っている。そのため、この企業がなくなってしまうと、塗工紙を用いた製品であるチラシがなかなか世に出回らなくなり、紙媒体で商品を見ることが困難になってしまう。また印刷用紙がなくなってしまうと、我々は印刷ができずに勉強や仕事がままならなくなってしまう。ここにこの企業の価値があると理解できた。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

環境問題解決の一助となることを目指すこの会社は、持続可能であったり、環境にやさしい原料の導入を試みているので、その点から競争優位性に持続性があると理解できた。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

環境問題に関する知識を蓄え、環境競争力の強化につながるようなアイデアの発想を続けていくことで自身の人的資本の価値を向上させることができるのではないかとおもった。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

人材データの部分で、最新の年のデータが一番左にきているのに違和感を持った。一般的には2021年のデータと2016年のデータの位置を逆にすべきだと思う。ほかにはとくになく、グラフやイラストが多用されていて個人的にはとても読みやすい報告書だと思った。